歳。年代別では65歳以上が 半数以上を占め、最少は39 4万5千人 (55・8%) で 00人で平均年齢は63・7 者(個人経営体)は8万7 2月時点の県内の農業従事 県によると、2024年 県内従事者、半数65歳以上 る割合はほぼ1割で推移し 歳と上昇。39歳以下が占め 4%)だった。 歳以下の7600人(9・ ・9歳、63・3歳、63・7 直近3年の平均年齢は62

感、3年近く行動を共にし 中に無の会を知り活動に共 る。大島さんは京都大在学

けていく」。そんな思いで

かな土地や田んぽを守り続

児島さんは土と向き合う。

島武生さん(26)=東京都出

ろがいい」。メンバーの大

「自由に活動できるとこ

ど、農業を巡る課題は多い

担い手不足や気候変動な

取り組める環境だ」。宇野 などやりたいことに十分に と出合った。「栽培や実験 栽培農家を巡る中で無の会 大学を卒業後、全国の有機 身=もその一人だ。米国の 野宏泰さん(32)=東京都出 り始める。無の会で働く宇 組みに興味を示す人が集ま

イ」だ。自然と向き合い

半商ラーニングコミュニテ

1~10日程度滞在。同法人

囲で会津美里町の古民家に

で農作業を体験する「半農

さまざまな経歴のメンバ

さんは会津に移り住み、メ

い」(児島さん)という。 を考える機会になってほし 価値観に触れ、自らの将来 と話をすることで「新しい

ンバーに加わった。

身=は魅力をそう感じてい

所にしたい。一緒に自然豊

的価値を感じてもらえる場

「若者が農業を通じて社会



共同生活しながら、循環型自然農法の探究に取り組む 自然農法無の会

業の世界に飛び込んだ。 ない有機農業を研究し、農

活動を続ける中で、取り

をしながら、予定の合う節

ムは、社会で働く人が仕事

今年から始めたプログラ

X

有機農法を研究

味を持ち、農薬や化学肥料 9人で活動し、ほとんどが 語教諭時代に環境問題に興 前に設立した法人は現在、 を見せる。 児島さんが20年 の児島徳夫さん(74)は笑顔 集まる場所になってきてい にとらわれずいろんな人が つになった。それらに頼ら を使う農業に疑問を抱くよ 人「自然農法無の会」代表 児島さんは県立高校の英 農業はもちろん、農業 や都内の高校生、企業など だ。もみ殻や酒かすなど地が、循環型自然農法の探究 栽培は国内の実践例が少な 肥を田畑に施し、コメや野 伝いや視察に訪れている。 300人以上が農作業の手 培にも挑んでいる。不耕起 ずに作物を育てる不耕起栽 菜などを栽培。農地を耕さ 域の植物資源から作った堆 働きながら無理なく いといい、これまでに個人 今、無の会が取り組むの

く人が仕事をしながら農業を体験できるプログラムを始めるな か、県外からの視察も後を絶たない。今年から新たに、社会で働 で評判が広がり、農業の可能性を追求する若者が次々と訪れるほ から集まった若者が有機農業に取り組む農業法人がある。口コミ ど、挑戦を続けている。 農業人口の減少や高齢化が問題となる中、会津美里町に県内外 無の会

|半農半商に挑戦

▲ 9月29日 福島民友新聞掲載

	711111111111111111111111111111111111111	,, <u>n</u> ., , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		出してまとめて	17220		• • •
「白妖農法	無の会」が行っ	ている「半農坐商	ダラーニン グコ	ミュニティレと	はどういうもので	·ቴለ	
· 山脈及A	W(0) \(\Omega\)	COOTINET		<u> </u>	1 July 1007 C	770	•
							• • •
目内の典業	分車老の半数け	65 告い トでもる	- トニついて	△終 ビニー ナー	いくべきと考えます	! 	
示内の長未	(作事句の十数は	の成以上である		っ核とうして	いへらと与えまり	<i>j N</i> '0	• •
• • •				· · · · ·	· · · · · ·		
• • •		• • • •	• • • • • •	• • • •		•	•